

内装向けフェノバボード下地に対する  
下地調整塗り施工要領書

技-202201-003

富士川建材工業株式会社

2022年1月

～目次～

1. 使用製品	..	3
2. 工法の種類と適用	..	4
3. 施工手順	..	4
4. 注意事項	..	7

## 1. 使用製品

### 1.1 A 工法、B 工法共通使用

#### ○シーレックス #50

セメント混和用ポリマーディスペーション、吸水調整材  
エチレン酢酸ビニル系 固形分 37±2%  
18kg(缶)



### 1.2 A 工法のみ使用

#### ○アリスネット 16cm 幅

耐アルカリ性ガラス繊維ネット  
ジョイント処理用及び補修部分に使用  
16 cm×50m 巻



別に、アリスネット 1m 幅(1m×50m 巻)もあります。

#### ○フジリペア#20

セメント系下地調整塗材 CM-2  
25kg(3層ポリ入りクラフト紙袋)  
標準加水量: 9~10L/袋  
標準塗り厚 約2~3mm  
標準塗り面積 約11㎡/2mm厚



#### ○フジライト#150

セメント系下地調整塗材 CM-2  
25kg(3層ポリ入りクラフト紙袋)  
標準加水量: 4.5~5.5L/25kg  
標準塗り厚 約0~15mm  
標準塗り面積 約4㎡/5mm厚



### 1.3 B 工法のみ使用

#### ○SS テープ

粘着剤付ガラス繊維メッシュジョイントテープ  
50mm 幅×153m/巻



#### ○S プラ

アルファ型既調合石膏プラスター  
20kg(3層ポリ入りクラフト紙袋)  
標準加水量: 約 8L  
標準塗り厚 5mm  
塗り面積 約 3㎡/5mm 厚



## 2. 工法の種類と適用

次の2工法より選択する。

工法名	構成	特長
A工法	プライマー塗布+(フジライト#150)+フジリペア#20 で目地等ネット伏せ込み+フジリペア#20塗り	一般仕上げ、Bよりローコスト
B工法	プライマー塗布+目地部SSテープ張り+(Sプラ補修) +Sプラ塗り	石膏系のため京壁等の中性下地用塗り 壁仕上げが可能、乾燥収縮がない

## 3. 施工手順

### 3.1 下地処理

#### ① A、B 両工法に適用

##### ○フェノバボード面の処理

- ・型枠解体時などにフェノバボードが大きく破損した場合は、破損部のフェノバボードを大きめに切り欠き、端材を後から接着張り※してください。  
※接着剤には変成シリコン系の接着剤をご使用下さい。
- ・フェノバボードに過度な衝撃を与えますとフェノバボードの破損、破断を引き起こしますので避けてください。
- ・フェノバボードの面材が大きく剥がれている場合、面材をカッターなどで切り取った上でプライマー及びフジリペア#20(又はSプラ)を施工してください。
- ・コンクリートノロは取り除き、プラスチック釘は切り取る。
- ・フェノバボード表面の埃等を清掃する。

##### ○コンクリート面の処理

- ・コンクリート下地の突起、レイトンス、硬化不良部分などはサンダーやワイヤブラシで除去しておく。大きな不陸は補修しておく。下地表面に出ている番線や釘などは除去し、その頭は錆止め処理しておく。

#### ② B 工法のみ適用(Sプラは石膏系のため、①に加え次の処理を行う。)

金属部分は防錆処理を行なう。アルミサッシ、額縁に接する所はビニル製の見切りなどで縁を切る。

## 3.2 下地調整塗り

## A 工法

工程	工法	塗布量塗厚	工程間 間隔
プライマー塗布	全面(フェノバボード表面及びコンクリート部分)にシーレックス5倍希釈液を2回塗布する。 1回目塗布後乾燥を確認してから、2回目を塗布する。	フェノバボード 250g/m <sup>2</sup> (希釈液) コンクリート部分150g/m <sup>2</sup> (希釈液)	12時間 以上
フジライト#150	フェノバボードとコンクリートの境界面やフェノバボード目地部分等、下地に5mm以上の段差や凹部分がある場合は、フジライト#150(シーレックス2.5kg/袋混入)で補修する。		2日 以上
目地等アリスネット伏せ込み	フェノバボードとコンクリートの境界面や、フェノバボードの目地部分及び段差を補修し厚塗りとなった部分に、ネットサイズより広めにフジリペア#20を1mm厚程度塗り付け、直ちにジョイントには160mm幅、補修厚塗り部分には厚塗り部分より周囲100mm以上のサイズのアリスネットを張り付け、ネットの浮きがなくなるようにコテでなじませる。アリスネットの継ぎ目がある場合は50mm以上重ねる。	1mm	1日 以上
フジリペア#20塗り	フジリペア#20を全面にコテ塗りし、むらをとリ、しまり具合を見て平坦に押さえる。特に、ネット伏せ込み部分が厚くならないように注意する。 ※	2～3mm厚 目地処理の厚みを含む	7日 以上
仕上げ材施工	十分乾燥した後、仕上げ材(塗り壁、内装クロス等)を施工する。		

※フジライト#150厚塗り部分にフジリペア#20塗り付ける場合に、下塗りのフジライト#150厚塗り部分が乾燥し吸水が激しい場合は、吸水調整材としてシーレックス5倍希釈液を塗布し、乾燥後塗り付ける。

## B 工法

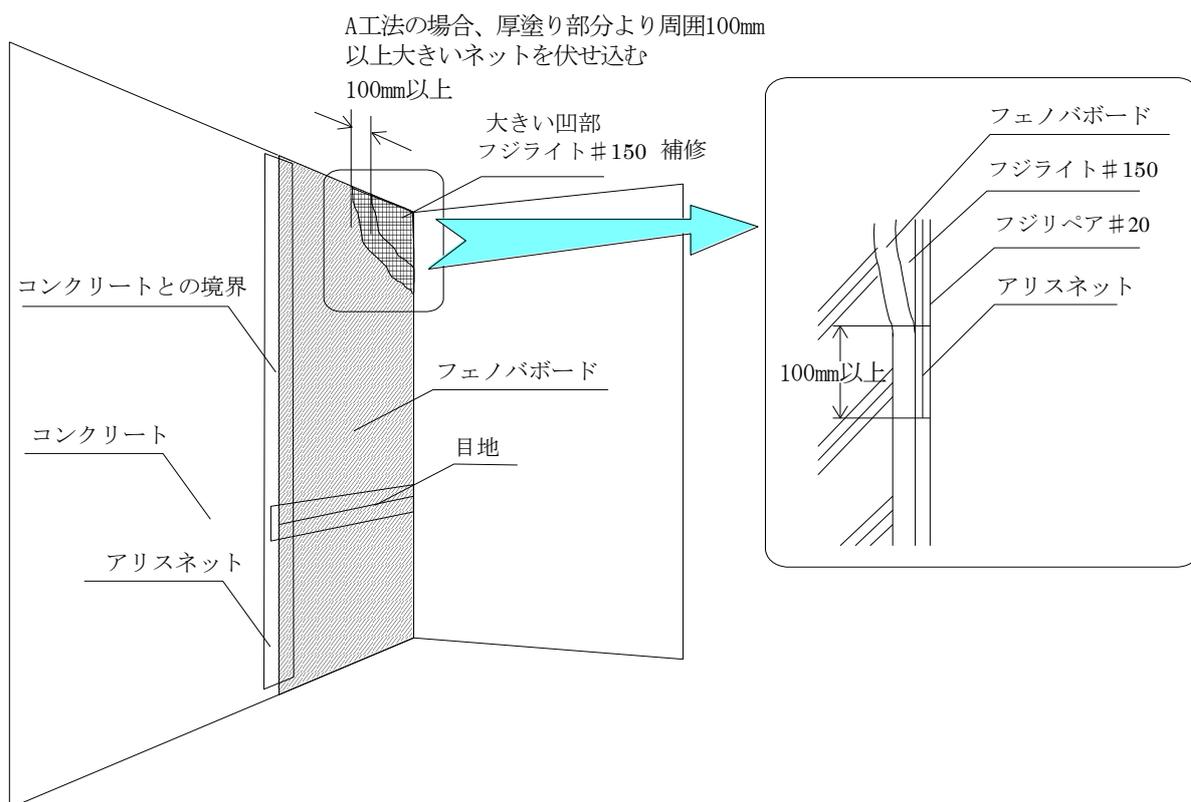
工程	工法	塗布量塗厚	工程間 間隔
プライマー塗布	全面(フェノバボード表面及びコンクリート部分)にシーレックス5倍希釈液を2回塗布する。 1回目塗布後乾燥を確認してから、2回目を塗布する。	フェノバボード 250g/m <sup>2</sup> (希釈液) コンクリート部分150g/m <sup>2</sup> (希釈液)	12時間 以上
目地処理	フェノバボードの目地及びフェノバボードとコンクリートの境界面にSSテープを貼る。		
Sプラ補修	フェノバボードとコンクリートの境界面やフェノバボード目地部分等、下地に5mm以上の段差や凹部分がある場合は、Sプラ(いずれもシーレックス1kg/袋混入)で補修する。Sプラ補修部分にシーレックス5倍希釈液を塗布する。		4時間 以上
Sプラ塗り	全面にシーレックスを1kg/袋混入したSプラを下ごすりし、しまり具合を見てSプラ(シーレックス混入なし)を塗り、平坦に押さえる。	5mm 厚※	7日 以上
仕上げ材施工	十分乾燥した後、仕上げ材(塗り壁、内装クロス等)を施工する。(クロスの場合必要に応じパテ処理を行う。)		

※コンクリート部分のSプラが、所定塗厚よりも薄い場合、コンクリートのアルカリ分の影響を仕上げ材が受ける場合があります。

### アリスネット及びSSテープの施工箇所

A 工法(アリスネットを使用):フェノバボードの目地、フェノバボードとコンクリートの境界面、厚塗り補修部分

B 工法(SSテープを使用):フェノバボードの目地、フェノバボードとコンクリートの境界面



## 4. 注意事項

### <ひび割れについて>

○A工法の場合、フェノバボード表面に施工するフジリペア#20の厚みは2～3mm程度を想定しています。よって、以下のような場合、特にひび割れに対する注意が必要です。

・フジリペア#20を厚塗りした場合

収縮量が大きくなり、ひび割れを生じさせる恐れがあります。

・型枠の目違いなどによって、フジリペア#20の厚さにムラが生じる場合

収縮量に差が生じ、ひび割れを生じさせる恐れがあります。

・フジリペア#20を施工するフェノバボード面が広い場合

収縮量が大きくなり、ひび割れを生じさせる恐れがあります。

ひび割れ抑制には、アリスネットの伏せ込み使用が効果的です。

○B工法の場合は、石膏系のため乾燥収縮がありませんのでA工法と比べひび割れは大幅に発生しにくくなります。特に、塗り壁に最適な工法です。

○ひび割れが発生した場合の処理

・十分乾燥後、パテ処理してください。

・塗り壁仕上げの場合はパテ処理部分の水引きが変わりますので注意して下さい。

### <白華現象について>

気象条件等によっては下地調整材(フジリペア#20、フジライト#150)表面に白華現象を生じる場合があります。

白華現象とは、主に冬期低温時に、セメント中の可溶成分が、表面に白色粉として析出する現象で、セメント製品の表面が乾燥してくるにつれて一面に白く見えるようになり、この状態で上塗りすると剥離の原因となる場合があります。

#### ①白華防止対策

特に冬期は白華防止対策として次の点に留意してください。

・低温時に施工する場合は、適切な保温措置を取る。ただし、ジェットヒータを使用する場合は、直接壁面に当てない。

・混水量が多いと、白華しやすくなるので、水を入れすぎないようにする。

・混練り水の温度も考慮し、低温の水は使用しない。

・混和材(例えば作業性改良材)を使用すると、混水量が増え、白華しやすくなるので、避ける。

・シーレックス混入量は規定通りする。

#### ②白華が発生した場合の処理

析出した白色粉をウエス等により除去した上、シーラー処理を行ない、シーラー乾燥後、上塗り材を施工する。

### 使用上の注意

- 本施工要領書は、外部の施工には適用いたしません。
- 気温5℃以下の場合は作業を中止するか、適切な保温措置を取って下さい。
- セメント、砂など他の材料の追加混入は避けて下さい。
- 混練りにはプラスチック又はステンレス製容器を使用してください。特に、S プラ(B 工法)の場合、硬化時間に影響することがありますので、注意して下さい。
- 混練り、希釈には清浄な水を使用して下さい。
- 材料の練り足しは避けて下さい。特に、S プラ(B 工法)の場合硬化時間が極端に短くなる場合がありますので注意して下さい。
- (A 工法)日射日光及び激しい通風による急速乾燥は避けて下さい。
- (B 工法)硬化するまで(混練り後4時間)は、ドライアウトを防ぐ為、直射日光、風通しを避け、急激な乾燥を防止して下さい。硬化後は、速やかに乾燥させて下さい。
- 混練りした材料は加水後1時間以内に使い切して下さい。
- 使用後の器具は水で清浄してください。
- 工事中は、周辺のほかの部材及び仕上げ面を汚損しないように養生テープ等で適切な養生を行って下さい。
- セパレーター穴などには、必要に応じて一液式ウレタンスプレーなどを充填してください。
- クロス仕上げとする場合は厚手のものをお勧めします。
- その他、パンフレット等に記載の各材料の注意事項を参照してください。

### 保管上の注意

- 製品(フジライト#150、フジリペア#20、S プラ)の保管は、湿気の少ない場所にパレットなどを敷き、床面より離して下さい。
- 製品(シーレックス)の保管は、水濡れ、凍結、直射日光を避けて下さい。
- 開封した材料は早めに使い切して下さい。
- 製品(フジライト#150、フジリペア#20)は製造年月日より、3ヶ月以内に使用して下さい。
- 製品(シーレックス、S プラ)は製造年月日より、6ヶ月以内に使用して下さい。

### 輸送上の注意

- 紙袋の破れ、落下がないように荷崩れ防止などに配慮して下さい。
- 降雨等の水濡れに配慮して下さい。

### 廃棄上の注意

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

## 本施工要領書の取り扱いについて

本施工要領書は、フェノバボード下地に対する下地調整塗りの標準的な施工方法を示したもので、全ての現場に当てはまるとは限りません。各施工現場では、本施工要領書では合致できない様々な状況が考えられますので、施工業者におかれましては、各々の現場状況にあった施工及び管理をお願いいたします。また、あわせてフクビ化学工業(株)作成のフェノバボード施工手順書を良くご理解いただけますようお願い致します。

※本記載内容は現時点での資料・データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

本施工要領書に記載のない内容等についてはお問い合わせ下さい。

建築仕上げの流れを創る



富士川建材工業株式会社

URL <http://www.fujikawakenzai.co.jp/>

本社・工場／〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町13番地

TEL045-772-1811 Fax045-772-0467

<http://www.fujikawakenzai.co.jp>

e-mail: [mail@fujikawakenzai.co.jp](mailto:mail@fujikawakenzai.co.jp)